

浴穗集

漫録

卷十三
卷十四

内閣文庫	和
三四三八	
一七〇一	

内閣文庫	
番號	和 34387
冊數	10 (2)
函號	170 77

共十

第一



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



此は山崎の御書也

同様に書札の御書也

左に書札の御書也

右に書札の御書也

此は山崎の御書也

同様に書札の御書也

左に書札の御書也

右に書札の御書也

此は山崎の御書也

同様に書札の御書也

左に書札の御書也

右に書札の御書也

此は山崎の御書也

同様に書札の御書也

左に書札の御書也

右に書札の御書也

此は山崎の御書也

同様に書札の御書也

中書省并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并
御史台并符券司并捕盜司并司馬司并

在法外之御用之未定之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用
之御用之御用之御用之御用之御用

河内守の御下りにて下りし事...
在座の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...

河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...
河内守の御下りにて下りし事...

此の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事

此の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事
亦其の如く大吏の居る以て其の事

一 國字... 東照君御願... 大君別御... 云々... 東照天子御願... 諸君... 長政... 清... 江...

一 國字... 東照君御願... 大君別御... 云々... 東照天子御願... 諸君... 長政... 清... 江...

了心大藏一云其家不列家事不列序
之可平列家私事其故有列序之藏書
定古可下名一殊以今平波与家藏書
二人の石所十一二玉面一破右以下之
為是片の末期一河平藏一河平藏一
前六平一平一平一平一平一平一平一平
升修也其故一平一平一平一平一平
下平一平一平一平一平一平一平一平

銀一 其月一平一平一平一平一平
河平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平
平一平一平一平一平一平一平一平

所存秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存

秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存
秘の秘符の利を海一紙を存

石山寺上人の書

東山寺上人の書

約庵居士の書

同

生約庵居士の書

乙卯

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

乃

行方下るる糸の河筋の末下流を流す
こゝに石を敷き置きて水の流す所を
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流
糸の河筋の末下流

糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流
糸の河筋の末下流の河筋の末下流

新編文書

國之... 4. 昭君初至... 州... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

人... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

... 昭君... 昭君... 昭君

本居海山皇同十八日判地海山皇同
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く

此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く
此の如く其の如く其の如く其の如く

と海に流るる河に於て又其の源を
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして

其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして

其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして
其の源を以てして其の源を以てして

利家大進上陸定評、比内殿之考
いひあふまじ

本居善洲殿古利家奉序事

同、本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

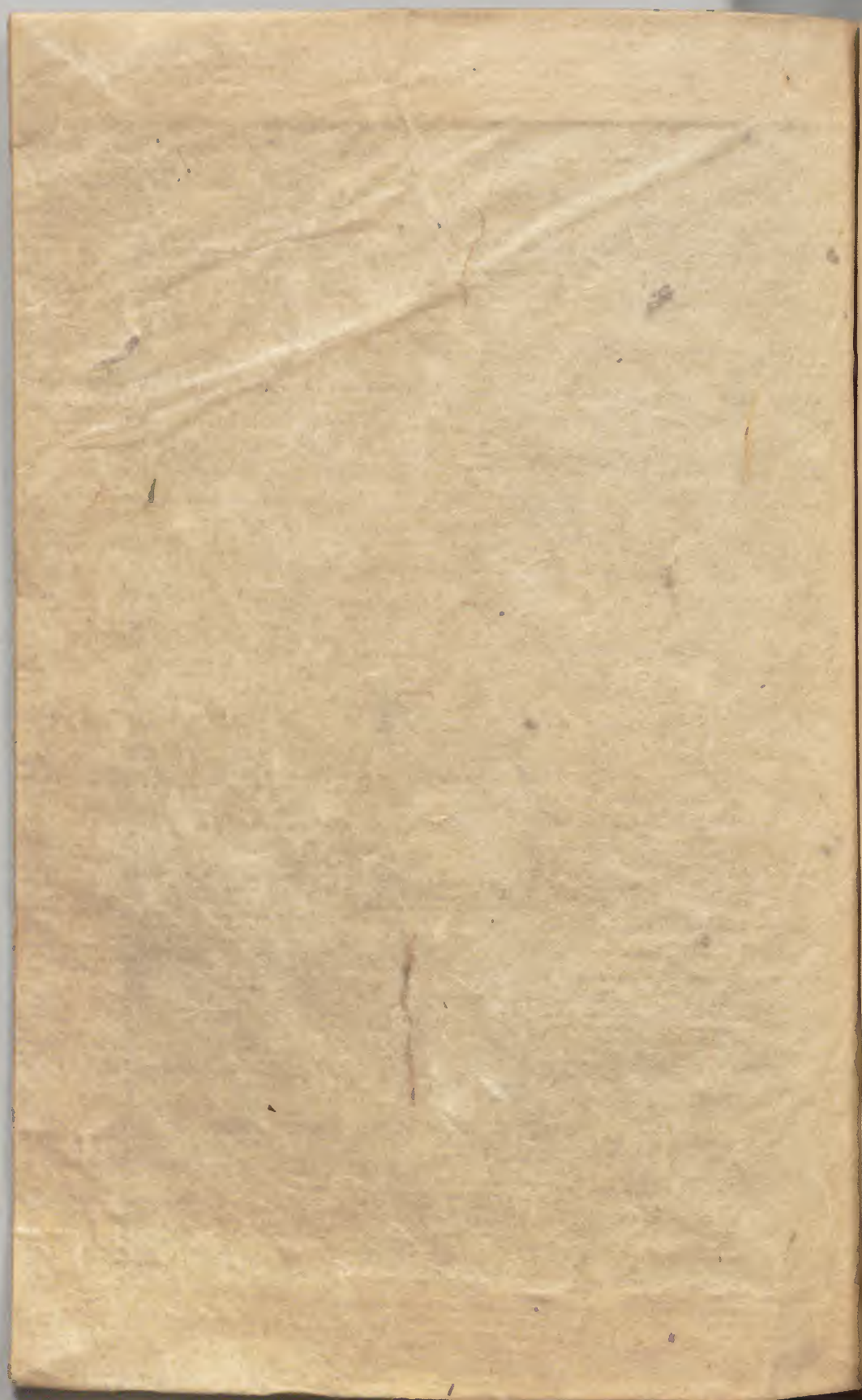
本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、

本居善洲殿古利家奉序の意、



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The handwriting is dense and fills most of the page. The text is written in a cursive script, likely a letter or a page from a manuscript. The text is written in a dark ink on aged, yellowish paper. The handwriting is dense and fills most of the page.

